

## 淡路島に新たなフォトスポット誕生 ～「あわじ環境未来島ガーデン」の設置について～

このたび、「あわじ環境未来島構想」の取組をより多くの皆さんに知っていただくため、淡路シェフガーデン（淡路市岩屋）において、淡路産竹混合ファイバーや淡路瓦等を使用した花壇「あわじ環境未来島ガーデン」を淡路県民局が設置します。

当校は、ランドスケープの専門性・ノウハウを有することから、このガーデンのデザインや設置等で大いに関わっています。

多くの方にご覧いただくとともに、SNS 等を活用して写真や動画が淡路島内外へ広く発信されることを期待しています。

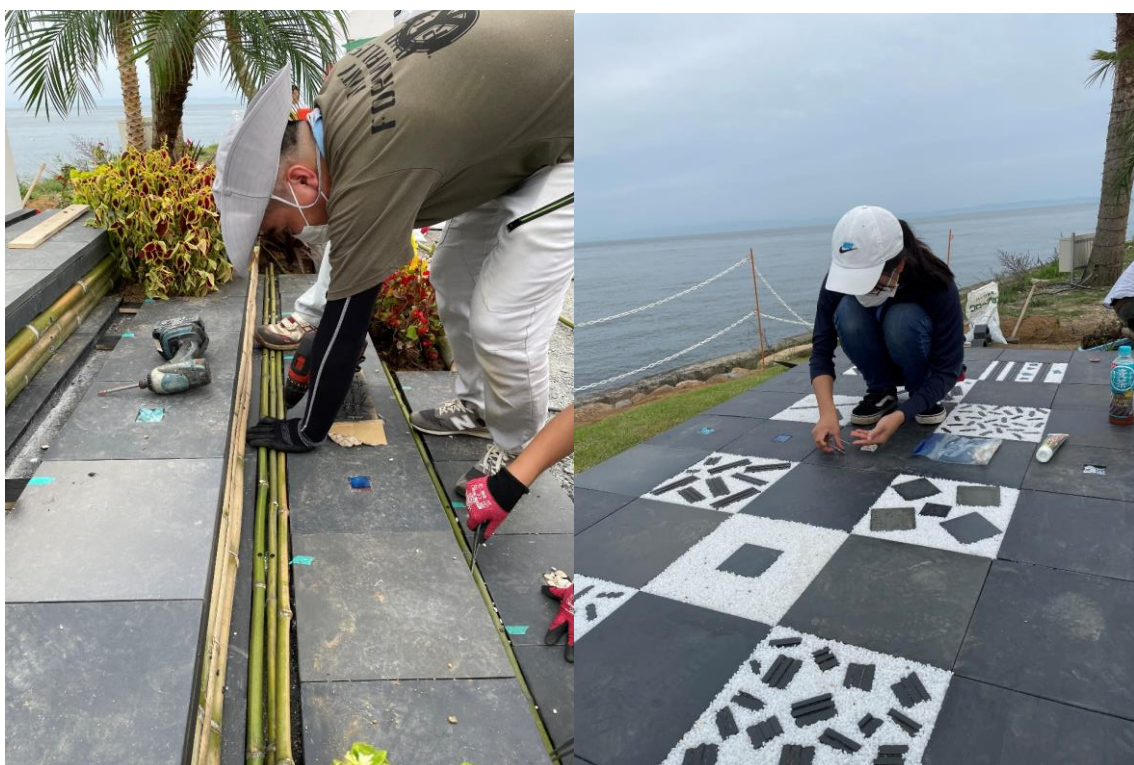
（デザイン監修：沈教授 兵庫県立淡路景観園芸学校景観デザイン）

ガーデンは、雄大な大阪湾を借景に真っ白の大型フレームとそれを際立たせる花壇を足もとに整備し、周囲のカラフルなコンテナ群の中でも埋没しないデザインとしました。

花壇には、淡路島で拡大する放置竹林の問題に注目し、山からとった竹を活用しました。それと同時に、島の伝統産業でもある淡路瓦の廃材も活用。サイズが不揃いの瓦を生かしながら手作り感が味わえる仕上げとしました。

こうして整備した階段や踊り場、色鮮やかな花、それらと大型フレームの中で様々な表情を見せる大阪湾との組み合わせにより、シェフガーデンならではの景観演出を実現しました。

また、整備には当校でランドスケープを学ぶ生徒も参加、景観園芸の経験を積みました。



## 1. あわじ環境未来島ガーデンの特徴

- 誰もが目を惹く大型フォトフレーム
  - ① 青い海と青い空を背景に美しい景色を切り取り
  - ② フレームのQRコードからあわじ環境未来島の Instagram へアクセス可能
- 淡路島の豊かな資源を再利用した花壇
  - ① 淡路島内の放置竹林に着目し、山から間伐した竹を階段に活用
  - ② 竹を混合した土壌改良材「竹混合ファイバー」を土の代わりに敷設
  - ③ 地場産業である瓦業界から廃棄瓦を譲り受けて使用

### 【イメージ図】



◆あわじ環境未来島 Instagram  
「awaji\_kankyomiraijima」



#あわじ環境未来島 #エネルギーの持続 #暮らしの持続  
#淡路島の魅力 #淡路島 #淡路島好き

## 2. あわじ環境未来島ガーデンの概要

- (1) 設置目的 「あわじ環境未来島構想」の普及啓発のため
- (2) 開設日時 令和3年9月18日(土)
- (3) 設置場所 淡路シェフガーデン内(淡路市岩屋2942-39)
- (4) 形状等
  - ① フレーム 高さ360cm、横250cm
  - ② 花壇部分 幅800cm、奥行188cm、高さ60cm(4段構造)
- (5) 関係団体
  - ① 設置者 兵庫県淡路県民局
  - ② デザイン 兵庫県立淡路景観園芸学校
  - ③ 施工 株式会社 津村造園
  - ④ 賛 大建工業 株式会社/国土防災技術 株式会社  
(産官学連携:淡路産竹資源活用プロジェクトグループ)
  - ⑤ 協力 株式会社 パソナグループ (場所の提供等)

### 3. 参考

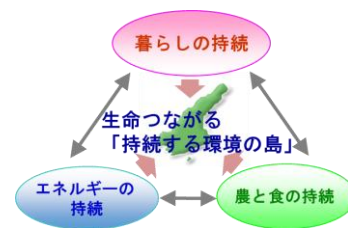
#### (1) あわじ環境未来島構想

歴史、自然、食など豊富な地域資源に恵まれた淡路島で、住民、NPO、企業、行政が一緒になって持続可能な地域社会モデルを生み出していこうとする取組み（H23～）。

「エネルギー」「農と食」「暮らし」の3つの“持続”を柱に『生命つながる「持続する環境の島」』の実現を目指す。

■兵庫県 淡路県民局 交流渦潮室 交流渦潮課（ビジョン・未来島担当）

■TEL 0799-26-2125 FAX 0799-24-6934



あわじ環境未来島構想の取組み

#### (2) 土壌改良材「竹混合ファイバー」

端材木材チップにフルボ酸を配合した「DWファイバー」に淡路産の竹を混合させた土壌改良材。地表に5cm程度の厚みで覆い被せることにより防草・抑草効果が期待される。

令和2年10月から産学官（大建工業株式会社、国土防災技術株式会社、兵庫県立淡路景観園芸学校、兵庫県淡路県民局）が連携し、「淡路産竹資源活用プロジェクト」に取り組んでいます。



竹混合ファイバー